

甲斐市立竜王東小学校 自己評価書

平成31年2月4日（月）作成

校長 渡辺 良仁

記述者 教頭 佐野 紳二

学校教育目標

人間性豊かで主体性に富んだ児童の育成

- (1) よく考え、進んで学ぶ子ども（自主性、創造性）
- (2) きまりを守り、思いやりのある、心豊かな子ども（社会性、道徳性、情操性）
- (3) じょうぶでたくましく、最後までやりぬく子ども（健康な心身、強い意志）

学校経営方針

- (1) 多様な学習指導と幅広い教育活動の展開及び組織的、継続的な評価と改善
- (2) 問題解決的、体験的な活動の展開、オープンスクールとしてボランティアなどの人的資源を活用した確かな学力の育成
- (3) 言語環境を整備する中で好ましい人間関係を育成し、生き方の基礎を培う生徒指導の推進
- (4) 学校、保護者、地域との連携を図った健康と安全の保持増進
- (5) 学校、保護者、地域との連携を図った児童の「安全・安心・安定」を基盤とし、信頼され開かれた学校づくりの推進

1 全体評価

- 学校経営方針に基づき、教育目標の実現に向けて、一人一人の教職員がそれぞれの職務を遂行してきたことにより、教育活動全般にわたって、教職員・児童・保護者から、ともに肯定的な結果を得られた。このことから、竜王東小学校の学校評価に係る総合的な評価は概ね良好な水準にあると考えられる。
- 職員間での相互理解が十分になされており、各自がそれぞれの校務分掌上の役割を十分に理解した上で、主体的に学校運営に参画している。
- 校内研究の研究主題である「よく考え、進んで学ぶ児童の育成」に沿って授業改善に取り組んだことにより、個々の児童に配慮しつつ、基礎基本の定着を図るような授業が行われている。「授業中に質問や意見を言っていますか」をはじめ、積極的に挙手・発言をしたり、分からないことを質問したりするような表現力を問う質問への評価が他の項目と比較すると若干低いことから、児童の表現力や学習への主体性、積極性を高める指導方法の工夫が求められている。
- 児童の健全育成と生徒指導上の課題の解決に向け、職員間での情報交換が十分になされており、保護者や地域の方および関係機関との連携が図られている。
- PTA活動や児童の見守り活動を中心に、保護者や地域の方からの積極的な支援をいただきながら、協力して教育活動を推進することができている。
- 学校の施設や設備を生かしつつ、学校全体で特色ある教育活動を推進しようと心がけている。

2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）

- 「教職員自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の3つの調査を実施した。A評価（とても思う）とB評価（思う）を肯定的評価として捉えることとした。また、それぞれの評価を点数化し、小数第一位までの概数で数値化し、項目ごとの平均値を前年度と比較をした。

I 学校教育目標に関して・学校経営について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの項目全てにおいて肯定的評価が100%であり、平均値もとても高く、また、4項目で昨年度よりも評価が上がっている。概ね良好な評価であると言える。学校教育目標が具体的に示され、それぞれの教職員が学校教育目標の具現化に向け、具体的な取り組みを行っていると考えられる。また、教育活動全般においてPDCAサイクルが確立されており、常に活動の結果を評価し、改善しようとする姿勢が定着しつつあると考えられる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働き方改革が進められる中、更に業務の改善に取り組み、子どもたちとふれあう時間を確保しつつ、よりよい教育活動を教職員が一丸となって創造していきたい。
II 学校運営について（保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの項目全てにおいて肯定的評価が100%であり、平均値も高く、概ね良好な評価であると言える。特に「職務上の報告・連絡・相談・確認」の項目では、全ての教職員がA評価をしており、報告・連絡・相談・確認が確実に行われ、職員相互の信頼関係を基盤として職務が遂行されていると考えられる。 ・「校内研究への主体的な関わり」の項目では、前年度より0.2ポイント上昇しており、校内研究への積極的な参加が見られた。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「危機管理マニュアルの理解」の項目の評価がやや低い。竜王東小学校には「防災計画」「児童の安全確保及び学校の安全管理について」という2つのマニュアルが存在し、計画に沿って避難訓練や防犯教室が行われている。本年度は食物アレルギーの研修も行われ、安全に対する意識は高まっていると考えられるが、来年度に向け、より視覚的に分かりやすい危機管理マニュアルの整備と、マニュアルに沿った安全教育・職員研修の実施が必要である。
III 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの項目全てにおいて肯定的評価が100%となっており、平均値も高く、また、6つの項目で昨年度よりも評価が上がっている。概ね良好な評価であると言える。校内研究で授業のユニバーサルデザイン化に取り組み、研究主題である「よく考え、進んで学ぶ児童の育成」に迫る授業研究・教材研究・授業実践がなされた成果が着実に上がっていると考えられる。 ・児童アンケートでも、「学校の授業は楽しいですか」「先生はよく勉強を教えてくださいか」「国語・算数の授業の内容は分かりますか」のそれぞれの項目で、いずれも高い評価となっており、教師の熱心な学習指導が児童の学習意欲を高めることにつながっていると考えられる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「質問や発言が出てくる授業を行っている」の項目の評価が、他の項目と比較すると低い評価となっている。児童アンケートでも「授業中に質問や意見を言っていますか」「授業で分からないことがあったら、先生に聞いていますか」「授業中、自分の考えを進んで伝えようとしていますか」の3つの項目が、他の項目と比較して低い評価となっている。表現力や主体的に学ぶ姿勢をより一層高めていくような指導の工夫が求められている。 ・「宿題や家庭学習の指導」の項目は、教師はA評価である。児童・保護者の「宿題への取り組み」の項目も同様にA評価となっている。しかし、保護者に自主学習への取り組みを問う項目の評価がC評価となっている。家庭学習の手引きを再度配布するなど、全校的な取り組みを行うとともに、各学級でも児童の実態に応じて自主学習への取り組みを促すような指導を、更に行っていく必要がある。

IV 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6つの項目全てにおいて肯定的評価が 100%となっており、平均値も高い。概ね良好な評価であると言える。児童アンケートの結果を見ても、「学校は楽しい」「クラスに仲のよい友だちがいる」「困ったことがあったら、相談できる友だちがいる」のそれぞれの項目がA評価となっており、適切な生徒指導により、子どもたちが楽しい学校生活を送っていると考えることができる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生き方教育（キャリア教育・進路指導など）」の項目が、他の項目と比べると評価が低い。児童アンケート、保護者アンケートの「将来の夢や希望を持っている」の評価が他の項目と比較してあまり高くないことと合わせて考えると、今後、児童の発達段階に応じた継続的なキャリア教育を実施していくことが必要であると考えられる。 ・ 毎学期行っている生活アンケートの結果を見ても、いじめの件数は少なく、重大事態と捉えるべき事案は報告されていない。今後も問題行動の早期発見・早期対応に努めるとともに、教職員と児童がふれあいの時間を多く持ち、子どもの変化に早期に気づくことができるよう、業務改善の取り組みを継続していく必要がある。
V 地域との連携について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8つの項目全てにおいて肯定的評価が 100%となっており、平均値も高い。概ね良好な評価であると言える。保護者アンケートの結果を見ても、「学校だより等から教育活動の様子を知ることができる」「授業参観日や学校開放日は、子どもの様子を知る機会となっている」「学校は保護者・地域住民の声に耳を傾けている」のそれぞれの項目の評価の平均が 3.0 以上となっており、学校と地域の連携がうまく図られ、機能していると考えられる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や保護者との連携について一定の評価ができるが、学校での教育活動について、さらに保護者や地域の方に情報を発信し、学校と保護者・地域との総合の信頼関係をより一層高めていく必要があると考えられる。 ・ 特に学校が保護者や地域住民からの要望を聞く機会を設けたり、保護者がPTA活動に主体的に参加していると感じられるような方策を講じたりしていくことが必要である。
VI 学校の特徴に関して	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の特徴として、以下の7項目を掲げ、評価を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。 ②授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。 ③児童生徒が積極的に読書活動に取り組むよう、指導に努めている。 ④児童が縦割り活動に進んで取り組むよう、指導に努めている。 ⑤児童がきまり良い生活をするために、ノーチャイム制を生かした指導に努めている。 ⑥オープンスペースを活用した学習指導に努めている。 ⑦はげみ学習を効果的に行っている。 ・ 7つの項目全てにおいて肯定的評価が 100%となっており、平均値も高い。概ね良好な評価であると言える。 ・ 特に②の「授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。」は全ての教職員がA評価をしており、授業参観等の機会を利用して学校の特徴ある教育を保護者に伝えようとする意識の高さを示している。

改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの結果をみると、「学校外でのあいさつをするよう指導している」の項目が、他と比較して評価が低くなっている。教職員の自己評価及び児童アンケートの結果を見ると、あいさつに関する項目の評価は比較的高い値となっており、評価のずれが生じている。より元気なあいさつが地域でもできるよう、保護者と学校が連携して取り組んでいく必要があるだろう。
<h3>3 まとめ</h3> <p><成 果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の自己評価では、44の評価項目全てにおいてA評価となっており、本校の教職員が市教育委員会の示す学校評価の各項目を、単なる評価項目ではなく、日常の職務を遂行するための行動指針（具体的な目標）として意識し、日々の業務に責任を持って真摯に取り組んでいることが伺える。 ・本校の評価結果を、過去2年間の評価、および市全体の評価結果と比較すると、いずれも同程度の評価である。本校が掲げる「安全・安心・安定」の学校運営が行われていると考えられる。 <p><課 題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目において評価が低かったものについては、その結果を真摯に受け止め、改善に努めていきたい。 <ol style="list-style-type: none"> ①児童の表現力、主体的に学習へ取り組む姿勢の向上 ②危機管理マニュアルの整備と、マニュアルに基づく防災教育と職員研修の充実 ③児童の発達段階に応じたキャリア教育の実施 ④学校と家庭とが連携した家庭学習（自主学習）の推進 ⑤地域や保護者との連携の推進および学校・学級・学年だよりやHP等、情報発信の充実 ⑥児童が地域で元気にあいさつができるような取り組み 	